



***** 大阪弁ト〜ク *****

「最近、株がどんどんあがってるそうでんな?」「けど、うちの賃金ちっとも上がってませんで。」「物価も上がってませんな。」「わけわかりませんな、バブルでっせ、」

…いつもの井戸端会議。「バブルに浮かれてる場合違いませ、いよいよ憲法の危機や」「いつも危機やんか」

「いいえ、今までも改憲論は何ぼもあったけど、今は憲法そのものを否定してまう、憲法こそ諸悪の根源やゆうて、戦後の日本を全部否定する。戦前の『大日本帝国憲法に返れ』いう論議がまかり通ってるんです」

「国民の自由を法律で制限し、社会保障の権利は認められず、軍部を天皇が直接指揮し、どんな軍部批判も統帥権を犯すとして許されなかった時代に帰る?あの戦争の恐ろしさと日本を破滅の淵に導いた軍部と政治指導者の愚かさを忘れてしまっ

てええんですか?」「うちは戦争でひどい目にあった世代や、敗戦で日本は3等国になった言われたもんや、それを一生懸命働いて復興させ世界第2位の経済大国にしたんはうちらやで、戦後日本を否定するいうことはうちらを否定することや」とご隠居怒る。「けど、それは一部の保守派の意見でっしょ?」

「違います。自民党憲法改正草案みてください」

「自衛隊を国防軍にしよういうんですな」

「それだけではないですよ。こんな提案してます。『この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力により、保持されなければならない。国民は、これを濫用してはならず、自由及び権利には責任及び義務が伴うことを自覚し、常に公益及び公の秩序に反してはならない』つまり、基本的人権は永久不可侵の権利ではなく、公益、公の秩序のために制限されるということです。大日本帝国憲法の『法律の許す範囲で権利を認』という原則とそっくりですよ。」「そうすれば、戒厳令もできるようになるもんね」

「日本人ってめっちゃ秩序正しい。大震災でもパニックをおこさなかった。大体日本は、犯罪がめっちゃ少ない」「ほんま?殺人とか増えてるんちゃう」

「殺人事件は減少し続けています、今は年間1千件余、死者500人余り、先進国でも驚異的に少ない。スリや強盗も少ない、犯罪自体が減っていつてるのです」「へえ!アメリカ人が聞いたらびっくりやね。」「戒厳令なんて不要ですよ。」「じゃなぜ?」「報道の規制が目的でしょう。」「そうや、そしたら原発事故隠しも完璧」「原発依存も復活させようという気配見え見えだよね。」「憲法だけではない、民主主義の危機や。立ち上がらなあかん!」「そやそや。憲法護れ、民主主義まもれ!」「脱原発!命を守れ」

大変な代償を払って手に入れた平和主義を放棄し「自由」に再び制限をつけることを選択するかどうかの曲がり角。みなさん立ち上がりましょう!
(熊野)

イベントカレンダー

5月3日・憲法記念日にみんなで歩こう!

第8回 市民パレードINとよなか

午前11時 豊中市役所前広場集合→豊中駅まで
憲法記念日の市民パレードも8回目となりました。今年のキャッチフレーズは原点にもどって「**変えたらアカン! 平和憲法**」。さあ皆さん、一緒に歩きましょう。「わたしたち市民は平和憲法を手放さないよ!」と元気にアピールしましょう!

主催:市民パレードINとよなか実行委員会

2012 憲法記念日のつどい

「安倍政権の改憲暴走を許さない!

5・3憲法のつどい&パレード」

5月3日(金・祝) 12:30開場 13:00開演
会場:エルおおさか・エルシアター(天満橋)
講演:浦部法穂さん「憲法改悪の動向と私たちの課題」 資料代:500円
主催:5・3憲法の集い実行委員会(06-6352-2923)

緊急上映!『映画 日本国憲法』&『ベアテの贈りもの』

5月4日(土・祝)~10日(金)

上映会場:シアターセブン(阪急十三駅下車)

(くわしくは4ページをご覧ください)

「変えたらアカン! 平和憲法」のアピールを!

日時:5月16日(木)18:00~19:00

場所:阪急豊中駅人工広場

(くわしくは3ページをご覧ください)

作家 赤川次郎さんが語る

「エンタテインメントの中の戦争」

5月17日(金)18:30~(18:00開場)

会場:中之島・大阪市中央公会堂(淀屋橋駅下車)

参加費:1000円(学生500円、高校生以下・障がい者無料) 主催:九条の会・おおさか

「何度でも語る。歴史の事実はこちらです」

~再び戦争への道を歩まないために~

5月25日(土)13:00~ドーンセンターホールにて

(くわしくは3ページをご覧ください)

原発も基地もない平和な世界へ

~みのおピースフェスタ2013~元沖縄県知事 大田昌秀さんが語る「沖縄からみた平和憲法」

6月29日(土)午後2時~4時(開場1時30分)

会場:箕面文化・交流センター8階大会議室

(くわしくは4ページをご覧ください)

「改憲論」の議論が盛んです。そろそろ変えてもいいかも！ と思う人も多いはず。でも、ちょっと待って下さい。憲法を変えるというには理由が必要。その理由の当否を問わないで、安易に変える方向に流れることは、結果として自分たちの首を絞めることとなります。次の点について考えてみましょう。

自民党の『日本国憲法改正草案Q&A』では、「占領体制から脱却」「主権国家にふさわしい国にする」と述べられています（2頁）。これは、いわゆる「押し付け憲法論」と呼ばれる考え方です。『Q&A』は重ねて、「現行憲法は、連合軍の占領下において、同司令部が指示した草案を 基に、その了解の範囲において制定されたものです。日本国の主権が制限された中で制定された憲法には、国民の自由な意志が反映されていないと 考えます」と述べています。しかし、この考え方は次の点で適切ではないといえます。

第1に、何を「押し付け」られたのかという点です。日本国憲法には、国民主権・民主主義、人権思想、平和主義等、近代国家に必須の原則が規定されています。実は、憲法制定作業にあたった「松本委員会」及び当時の日本政府は、「ポツダム宣言」の意味を理解できず、近代憲法を自力で 制定することはできませんでした。そのため、総司令部が関与することとなったわけです。押し付けられたことが事実でも、それによりようやくグローバル・スタンダードを手にした、ということになるわけです。

第2に、誰が「押し付け」られたのかという点です。主権者である国民でしょうか。その代表者である議会でしょうか。どちらも「NO」です。総司令部案発表前後の時期において、かなり多数の国民の意識の中には、現行憲法の価値体系に近い新しい憲法のイメージが描かれていたこと、また、民間の憲法草案の中にも総司令部案にかなり参照されたものもあったこと（例えば、「憲法研究会」案等）に注目すべきでしょう。さらに、一般の国民は、マッカーサーや総司令部の関与を知らされておらず、昭和21年4月に、完全な普通選挙制度の下で憲法改正草案を審議するための特別議会の議員が国民によって選挙されました。帝国議会での草案の審議については、法律的には審議の自由に対する拘束はなかったことからして、ここにも「押し付け」はありませんでした。

改めて、「誰が」押し付けられたのか、という問いに戻ります。結局は、当時の最高指導層ということになります。直接、総司令部側と交渉に当たったわずかの権力担当者。彼らの「押し付け」られた怨嗟の記憶が自民党に根強く残り、それが表れているというのが事実でしょう。そうした個人的な感情で政治を行うのは、主権者である国民を度外視した態度といわざるを得ません。仮に、「押し付け」を問題視するのであれば、同じ政治家が、占領終了のために「押し付け」られた安保体制を不問にするのはどういうことでしょうか。首尾一貫しない主張には、説得力はありません。

第3に、「押し付け憲法論」の不合理性です。この議論は、「占領下」で「押し付け」られたことを批判します。しかし、占領下では、日本の国家体制そのものが改革の対象となりました。警察改革、公務員制度改革、地方自治改革、税制改革、農地改革、教育改革、司法制度改革なども同様に批判するとすれば、戦後改革のすべてを批判するという不合理な議論になります。

以上の諸点についての理解を共有して、感情や勢いに流されない議論をしたいものです。

<高作正博さんのご紹介>

1967年石川県生まれ。琉球大学法文学部助教授、法務研究科准教授を経て、2008年より関西大学法学部教授。

【共著・編著】

『憲法と沖縄を問う』（法律文化社 2010）『地域に学ぶ憲法演習』（日本評論社 2011）

『平和と人権の憲法学―「いま」を読み解く基礎理論』（法律文化社 2011）

『私たちがつくる社会―おとなになるための法教育』（法律文化社 2012）など。



パレスチナ留学記

安田翔馬（大阪大学外国語学部アラビア語専攻）

2012年の5月から12月末まで、パレスチナはヨルダン川西岸地区のビルゼイト大学に留学していました。現地に行くまではパレスチナって安全なのか？毎日紛争が起こっているのでは、と不安でしたが、市街は買い物客で連日混雑し、クラブや映画館は家族で賑わうとても平和(?)な国でした。

ところが2ヶ月、3ヶ月住み続けると、様々な不便が見えてきました。イスラーム教にとっての聖地エルサレムはイスラエルの実行支配にある為、いちいち鉄格子の検問所を一時間かけて抜けなければなりません。入植政策により道路は分断され、隣の街に行くにも大きく迂回する必要がありました。旅行では分からない、パレスチナへの圧制を様々なことで感じるようになりました。ニュースでは連日、パレスチナ人がイスラエルの入植者に攻撃されるという記事が載ります。自分達の生活を、命を守るため、パレスチナ人の多くがイスラエルに抵抗し、排斥運動を行っています。

大学の休みを利用して、ユダヤ人の家庭にも一週間程ホームステイしました。パレスチナ人同様、彼らも私にとっても親切にしてくれました。パレスチナ問題の話になると、彼らも自らの考えを語ってくれます。「イスラエル政府の政策には全面的に賛成できない。だが、一部の過激なパレスチナ人がテロを行っているのは事実で、私達も自分達の生活を守る必要がある。」話を聞けば聞く程、ユダヤ人、パレスチナ人双方の気持ちが分かり、私はとても困惑しました。

これから大切なのは、お互いが未来の為に歩み寄って行くことではないのかと思います。確かに彼らに残る傷跡は深く、全てを受け入れることは難しいでしょう。だからこそ、過去を許し、平和な世界を創る必要があるのではないのでしょうか。まだまだユダヤ人、パレスチナ人の中での対話の機会は少ないと感じます。市民が少しずつ対話を重ね、政府を動かす。いつかベルリンの壁のように、イスラエルとパレスチナを分つ壁が、人々の手によって崩れる日が来るのを待っています。

2月5日(火)午後
映像を交えてパレスチナ留学報告をする安田さん。(豊中のカフェ・サパナにて)



憲法が危ない！ みんなでアピールしましょう！

昨年12月の衆議院選で、4割の得票で8割の議席を獲得して発足したのが、第二次安倍自民党政権。この摩訶不思議な選挙制度に、さすがの司法も違憲判決。しかし、安倍首相はそんなことは無視。今年の夏の参議院選で勝利し、狙うは「改憲」。恐るべき内容だ。天皇を、象徴から“元首”に。平和主義から、“戦争ができる国”へ。個人の人権よりも、“公益”を優先。まさに「壊憲」！！こんな自民と、橋下大阪市長の日本維新の会は、「参議院選後、改憲で連携」をすでに表明。

「変えたらあかん！ 平和憲法」こんな時だから、一緒に、何回もアピールしましょう。歌でも踊りでも自由に、楽しく！

◎当面、5月16日(木)と6月3日(月)

◎18~19時、豊中駅人工広場にて

◎呼びかけ:5・3市民パレード in とよなか参加者有志
(中川)

集会案内

「何度でも語る。歴史の事実はこちらです」 ～再び戦争への道を歩まないために～

1930年代から、日本軍はアジア・太平洋地域の侵攻した各地に兵士のための「慰安所」を設置し、多くの女性たちを性奴隷状態においた。中曽根元首相は、手記「終わりなき海軍 若い世代に伝えたい残したい」に、「私は苦心して『慰安所』を作ったこともある」と書いている。これが問題になった時、「兵士の休憩と娯楽のために作った」と語った。戦時だからと許されることでは決してない。

1993年、日本政府は河野談話を発表し、事実を認めて、お詫びと反省を述べた。しかし現在、安倍首相も橋下大阪市長も、河野談話を否定し、その見直しを狙っている。高齢になった「慰安婦」被害者たちは、日本政府の謝罪と賠償を心待ちしている。再び軍事国家にならないためにも、この問題解決の道筋を早急に作り出すことが求められている。

韓国から二人の日本軍「慰安婦」被害者を迎えて、集会が開催される。

日時：5月25日(土) 13:00~

場所：ドーンセンター ホール

講師：吉見義明さん(中央大学教員)

伊美香さん(韓国挺身隊問題対策協議会共同代表)

うた：李政美(イチョンミ)さん

安聖民(アンソンミン)さん

資料代：一般800円、学生400円 (中川)

みのおピースフェスタ2013へのお誘い

**元沖縄県知事 大田昌秀さんが語る
「沖縄からみた平和憲法」**

6月29日(土) 午後2時～4時(開場1時30分)

会場: 箕面文化・交流センター8階大会議室

(阪急箕面駅前サンプラザ1号館 072-721-1901)

参加費: 500円(高校生以下無料)

沖縄の祖国復帰は県民の「日本国憲法」を求める強い力で実現しました。しかしその憲法は沖縄ではまだ活かされていないのです。そのために県民は苦しんでいます。

沖縄から見たら日本の姿がよく見えるとよく言われます。戦中、戦後、アメリカの占領下、復帰後と近代沖縄の歴史のすべてを生きてきた大田昌秀さんを迎えて、改めて私たちの暮らす日本を考えてみませんか？

主催: みのおピースフェスタ2013実行委員会

TEL 072-729-9326

いちばん星も実行委員会に参加しています。ぜひご参加ください！

★おすすめの本★



『日本再生 最終勧告～原発即時ゼロで未来を拓く』

加藤 寛 (ビジネス社 2013.3)

長年日本の経済政策の中心的な役割を担い、小泉・竹中の郵政民営化や構造改革のブレーンでもあった経済学者が、「日本経済再生のために全ての原発を廃炉に」「原発ゼロを見届けないと死んでも死に切れない」という。脱原発デモで「経済より命が大切！」と叫んでいた私、興味本位で読んでみました。何という電力業界のレントシーキング(たかり)構造！！ここまで突っ込まれてもまだ原発推進をあきらめませんか、安倍さん？(筒井)

★おすすめの映画★

緊急上映！5月4日～10日

『映画 日本国憲法』13:20～

憲法制定の経緯や平和憲法の意義について、世界的な知の巨人たちの語った貴重なインタビュー集。

<同時上映> 『ベアテの贈りもの』11:30～

日本国憲法の人権と男女平等に関する条文の草案を作成したベアテ・シロタ・ゴードンさんの軌跡。

知っていますか？私たちの憲法のこと。

考えませんか？これからの未来のこと。

料金: 1回券 1,500円

2回券 2,000円

会場: シアターセブン

(淀川区十三本町) 06-4862-7733

「映画 日本国憲法」のジャン・ユンカーマン監督



いよいよ改憲の危機！もう一度開催します！！

予告

9条世界会議・関西2013

2013年10月14日(月・祝)

大阪市中央体育館にて(地下鉄 朝潮橋駅下車)

昨年12月の総選挙の結果、国会内では改憲に賛成の議員が多数を占め、危険な安倍政権のもとで、急速に改憲策動が進んでいます。いよいよ、大きな平和運動が必要な段階に入っています。

2008年の9条世界会議は、全国で約3万人、大阪の舞洲アリーナで8000人が集まりました。この力で、世論を大いに盛り上げました。今回の会場は前回よりも大きな会場です。会場を溢れさせて、大きな世論のうねりをつくりましょう。

予告チラシの配布にご協力いただける方、運営をお手伝いいただける方はご連絡ください。

Eメール: toyonakaichibanboshi@live.ne.jp

TEL 090-8216-7705(筒井)

ユニークなお店紹介 「カフェ・サパナ」

NPO 法人 国際交流の会とよなか(TIFA)が運営する新しいスタイルのカフェ。地域に住む外国人が日替りで母国料理を紹介しており、異文化体験ができます♪

アクセス: 阪急豊中駅9番出口から徒歩3～4分。

営業時間: 月～金 10:00～17:00

ランチは11:30～売切れまで。

豊中市本町3-3-3 TEL 06-6840-1014

日々のメニューやイベント等の情報は、ホーム

ページやfacebookで見ることができます。



いちばん星メンバーのつぶやき

毎日安倍さんのドヤ顔を見せられ、ストレスでめっきり白髪が増えた。

9条を変えるため96条を改定して改憲のハードルを下げようなんて、何と姑息な安倍政権！

なんぼアベノミクスで浮かれていても

9条を変えることまで国民は望んでいない！・・・と信じたいけど・・・。

そんなのんびり構えている状況じゃない。

いちばん星もがんばらなくっちゃ。(上田)

明るく元気に怒りたい人、いちばん星へ！

九条の会・豊中いちばん星 連絡先

FAX: 06-6849-0251

Eメール: toyonakaichibanboshi@live.jp

〒560-0021 大阪府豊中市本町1-1-1

市民活動情報サロン 気付

URL: <http://9jo-ichibanboshijimdo.com/>

★メールとホームページのアドレスが変わりました